科目ナンバリング	U-LAS20 10001 SB48						
授業科目名<英訳>	英語リーディング ER40,ER41 1φ2,1 English Reading			担当者所属職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 勝又 直也		
群	外国語科目群		分野(分類)		使用言語	日本語	
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	水1/水2	配当学年	１回生	対象学生	全学向

[技能領域]

アカデミックリーディング

[授業の概要・目的]

この授業の目的は、学術・研究論文を限られた時間のなかで速読して、正確に理解する能力を修得することである。学術の世界では、自分の研究成果を発表する以前に、他の研究者によって書かれた膨大な量の論文を読む必要があり、そのためには速読、多読の訓練が必須である。このような訓練は、将来研究者になることを目指す学生にとってのみならず、企業に就職するなど広く社会に出ていくことを希望する学生にとっても、重要な訓練となるはずである。それと同時に、英語の総合的な運用能力も高めるために、質疑応答や筆記試験を英語を使って行うなど、英語を実際に使う場を積極的に設ける。

[到達目標]

学術・研究論文を限られた時間のなかで速読して、正確に理解する能力を修得することを到達目標とする。

[授業計画と内容]

「授業の大きな流れ」
比較的短い英語の文章を、辞書を引きながら丁寧に読む訓練は、これまでの英語の授業でなされてきたと思う。大学におけるアカデミックリーディングでは、膨大な量の論文を比較的短い時間で読み、理解するために、速読、多読の訓練を行う。辞書を使わないで、知らない単語は意味を類推しながら読んでいく、大事そうな個所とそうでもない個所を見分けながら読んでいく、個々のセンテンスを一つずつ読むのではなく、パラグラフ全体を一つの絵のようにとらえて理解する、等々の訓練を行う。

「授業における具体的な作業」
毎回、速読、多読用の学術論文のプリント（10ページ程度）を配布する。学生はあらかじめ自宅で、そのプリントを、辞書を使わずに速読してから、段落ごとに内容をまとめておく。授業では、そのプリントについて解説するとともに、段落ごとの内容を確認する。この作業を３回行った後、４週目に確認のテストを行う。

テキストの内容については、人文学、社会科学、自然科学のさまざまな分野から、幅広く選ぶ（例：多重人格障害、笑いの構造、進化論、死生観、プロジェリア、ポスト植民地主義、フラクタル幾何学、人種観、相対性理論など）。

「授業スケジュール」
第１回：ガイダンス
第２回～第５回：第１ターム（上述の授業内容）
第６回～第９回：第２ターム（上述の授業内容）
第１０回～第１３回：第３ターム（上述の授業内容）

英語リーディング ER40,ER41(2)へ続く↓↓↓

英語リーディング ER40,ER41(2)

第１４回：予備日
定期試験日：期末試験
第１５回：フィードバック

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。

「評価方法」
平常点評価：５０％（毎回提出する課題、小テスト、授業内での発言など）
定期試験（筆記）：５０％

[教科書]

プリント配布

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

毎週、課題プリントを速読の上、段落ごとのまとめを提出することが要求される。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]